

# 社 報



## 情報技術 (IT) を活用する

### 鴻池組より警告書！

7月14日に鴻池組大阪本店より呼び出しを受けて、警告書を発行されてしまいました。

鴻池組では、元請が実施するパトロールで3ヶ月に2件以上の指摘を受けた場合には、上記の警告書を発行されてしまいます。

以後、パトロールで指摘を受けないように安全管理を徹底してください。

2005/5/20 やまとの湯

保護メガネの着用

2005/6/6 サムティ京橋

労働者名簿の整備

### 体調不良で病院へ

暑さのせいもあるんですが、現場で気分が悪くなる人が増えています。診断の結果、熱中症ではありませんでした。

元請からは厳重注意を受けております。各自要注意！

現在のコンピューターの技術進化はすさまじい勢いで発達しています。コンピューターの性能は毎年向上し今では市販のパソコンは5万円を切る価格で販売されています。

インターネットの普及も加速度的に広がりを見せて、企業から家庭まで、もはやインターネットなしには考えられない世界になりつつあります。また、携帯電話もパソコンと同様に進化を続け、いまや価格も低下して、子供までが携帯電話を持つようになっていますし、また、携帯電話でインターネットやメールを活用できるようになりました。

こうした情報機器の進化と普及はすさまじい勢いで発展していますが、その一方で、企業活動にそうした機器が有効に活用されているかと言うと、まだそれほどではないと思うのです。

この背景には、情報機器を企業活動に組み入れ展開すると、情報の流出など、情報管理ができなくなるのではという心配があるのではないかと思います。

メールやネットを通して、会社の情報が流出するのではと考えると、心配はつきません。実際、どんなルートでどんな人にどの情報が流れるかを考えると恐ろしくもあります。

しかし、現在を含めてこれからの時代には、ますます情報の共有化が重要になり、それによって目に見えないメリットが発生するはずですが、この利益を受けようとする企業はこれからの時代には必ず消滅してしまうのではと思います。

当社の現状を考えてみても、まだまだ情報技術を活用しているとは言えません。これからは、携帯電話端末を利用して、現場という現地生産のデメリットをなんとか解消していかねばなりません。

その為には、まずお粗末な仕組みからでも、実際に運用することでしょう。どのような情報を配信すれば現場の役に立つのか試行錯誤しながら工夫して行きたいと思っています。ご協力をお願いいたします。

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中！

### 新メンバーの紹介です

建築部建築主任として、  
大久保 学 (オコホ アキラ)さんが  
8月より来ていただいています。  
都島工業高校出身(29歳)  
1級施工管理技師取得  
建築部も頑張っていますので、  
応援をお願いいたします。

### 熱中症発生！

8月3日(水)13:30頃  
型枠解体工、富島豊さん43歳が、  
熱中症により脱水症状を起こし、  
気分が悪くなりました。

すぐに病院に搬送して治療を受けて大事なきを得ました。  
熱中症は初期治療が重要で  
今回の処置はGOODでした。

### 安全成績 (H17年)

現場災害 H17.1.1-H17.8.5	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
交通災害 H17.1.1-H17.6.30	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 1
合計	----- 1